

福島県立美術館 第Ⅲ期コレクション展(前期)

会期:2023年9月16日(土)―12月27日(水)

展示室 A

◆日本画の名品

- 池田 遙邨 (1895-1988) 《大漁》1932年、絹本着色・屏風二曲一隻
内田 あぐり (1949-) 《ロマノフの海》1984年、紙本着色
大山 忠作 (1922-2009) 《爽涼》1980年、紙本着色
岡村 宇太郎 (1899-1971) 《舞妓図》1925年5月、絹本着色
勝田 蕉琴 (1879-1963) 《安らかなる鳥の巣》1921年、絹本着色・屏風二曲一双／《喬松蒼鷹》1928年、絹本着色
鈴木 芳子 (1929-1998) 《ある家族の肖像》1975年、紙本着色
中島 清之 (1899-1989) 《胡瓜》1923年、絹本着色
速水 御舟 (1894-1935) 《女二題 其一》《女二題 其二》1931年／《晩冬の桜》1928年 全て絹本着色
福王寺 法林 (1920-2012) 《ヒマラヤの花》1983年／《バドガオンの月》1982年 全て紙本着色
山内 神斧 (1886-1966) 《和蘭陀船》1916年頃、麻布に着色、星野桂三氏寄贈
佐藤 玄々(朝山) (1888-1963) 《青鳩》1933年／《南洋人物像》1910年代、横井美恵子コレクション 全て木彫彩色

◆現代の工芸

- 加守田 章二 (1933-1983) 《灰釉花瓶》1960年代／《灰釉壺》1964年／《灰釉大皿》1966年頃 全て陶器
清水 卯一 (1926-2004) 《柿釉壺》1963年／《青瓷大鉢》1973年 全て陶器
鈴木 治 (1926-2001) 《泥像》1965年／《連歌》1991年／《馬形》1982年／『掌上泥象三十八景』1987年原型制作・2000年焼成 全て陶器
根本 裕子 (1984-) 《野良犬》2020年、陶、寄託作品 ※受付横に展示
緑川 宏樹 (1938-2010) 《薄(うすら)》1990年頃／《裂》1988年頃／《裂》1988年頃、全て陶
山田 光 (1923-2001) 《作品》1966年、陶土／《黒陶と金彩の窓》1981年、黒陶・金彩／《銀泥 楕円のパイプ》1995年、陶・ステンレス・銀泥

展示室 B

◆日本の洋画―大正から昭和―

- 上野山 清貢 (1889-1960) 《ムッシュ O の肖像》1915年、カンヴァス・油彩
瑛 九 (1911-1960) 《建物》1948年、カンヴァス・油彩
木村 荘八 (1893-1958) 《樹の下に遊んでいる子供》1915年／《於東京帝大構内》1927年 全てカンヴァス・油彩
関根 正二 (1899-1919) 《姉弟》1918年／《一本杉の風景》1918年頃 全てカンヴァス・油彩
長谷川 利行 (1891-1940) 《浅草の女》1935年、カンヴァス・油彩
前田 寛治 (1896-1930) 《後向きの裸婦》1927年、カンヴァス・油彩、河野保雄コレクション
吉井 忠 (1908-1999) 《赤い風景》1939年、カンヴァス・油彩

◆石原コレクション

- 吾妻 兼治郎 (1926-2016) 《MU-785》1978年、ブロンズ／《鳥》制作年不詳、軽合金・樹脂パネル他 全て石原コレクション
ジャン・カルトン (1912-1988) 《乳房を吸う幼子》制作年不詳、ブロンズ、石原コレクション
笹戸 千津子 (1948-) 《彫刻家》1988年／《おんなの子》1994年、ブロンズ、石原コレクション
佐藤 忠良 (1912-2011) 《ジャコビン》1977年、ブロンズ、石原コレクション
澄川 喜一 (1931-2023) 《そりのあるかたち》1980年、ブロンズ、石原コレクション
流 政之 (1923-2018) 《風の実》1977年、研ぎ出しブロンズ、石原コレクション
舟越 保武 (1914-1991) 《R》1986年、ブロンズ、石原コレクション
マリノ・マリーニ (1901-2002) 《馬と騎手》1972年、紙・リトグラフ、石原コレクション
ヘンリー・ムーア (1898-1986) 《彫刻のアイデア I》1980年、紙・エッチング・アクアチント、石原コレクション
オーギュスト・ロダン (1840-1917) 《髪をすく女》1900年以前(2002 鑄造)／《柱上のフナイユ夫人の胸像》1898-1900年 (1996年鑄造) 全てブロンズ、石原コレクション

◆安齋勇雄コレクション

- 亜欧堂 田善 (1748-1822) 《陸奥国石川郡大隈滝芭蕉翁碑之図》1814年、紙・銅版、安齋勇雄コレクション
井上 長三郎 (1906-1995) 《自画像》1980年、カンヴァス・油彩、安齋勇雄コレクション
海老原 喜之助 (1912-1986) 《馬と少年》制作年不詳、紙・水彩、安齋勇雄コレクション
恩地 孝四郎 (1891-1955) 《北京風景》1939年 紙・油彩 安齋勇雄コレクション

小山田 二郎 (1915-1991) 《鳥女》1979年／《子供》1980年 全て紙・水彩、安齋勇雄コレクション
 春日部 たすく (1914-1997) 《樹間の美瑛》制作年不詳、紙・水彩、安齋勇雄コレクション
 白瀧 幾之助 (1873-1960) 《風景》制作年不詳、紙・水彩、安齋勇雄コレクション
 野地 正記 (1914-1997) 《愛神》1966-67年、紙・水彩・インク、安齋勇雄コレクション
 ワーグマン (1832-1891) 《風景(山峡)》制作年不詳／《風景》制作年不詳 全て紙・水彩、安齋勇雄コレクション

展示室 C

◆アメリカの美術

清水 登之 (1887-1945) 《十四番街の地下鉄駅》1918年、カンヴァス・油彩
 ベン・シャーン (1898-1969) 《農民にたずねよ》1941年、ボード・グアッシュ／《労働者より農民へ……感謝をこめて》1944年、紙・オフセット／『リルケ「マルテの手記」より 一行の詩のためには…』より《多くの事物を》《飛ぶ鳥の姿》《小さな草花のたたずまい》《少年時代の病気を》《一篇の詩の最初の言葉》1968年、紙・リトグラフ
 ジョン・スローン (1871-1951) 《サンタフェからの二人の女》1921年、カンヴァス・油彩
 国吉 康雄 (1889-1953) 《婦人と子供》1920年、カンヴァス・油彩／《綱渡りの女》1938年、紙・リトグラフ
 野田 英夫 (1908-1939) 《牛乳ワゴン》1936年、カンヴァス・油彩／《少女》1936年、カンヴァス・油彩、河野保雄コレクション
 レジナルド・マーシュ (1898-1954) 《回転ブランコ》1931年、板・テンペラ
 アンドリュー・ワイエス (1917-2009) 《ガニング・ロックス》1966年、紙・水彩／《松ぼっくり男爵》1976年、ボード・テンペラ

◆ヨーロッパの美術

カミユ・コロー (1796-1875) 《ヴィル・ダヴレー 林をぬけてコロエ家へ向かう池沿いの道》1873年、カンヴァス・油彩
 カミユ・ピサロ (1830-1903) 《エラニーの菜園》1899年、カンヴァス・油彩
 ピエール＝オギュスト・ルノワール (1841-1919) 《帽子を被る女》制作年不詳、カンヴァス・油彩

展示室 D

◆齋藤清の会津

齋藤 清 (1907-1997) 《会津の家(A)》1972年／《柿の会津(2)》1973年／《会津の家(H)》1974年／《稔りの会津(1)》1975年／《稔りの会津(2)》1975年／《只見川、会津柳津(1)》1979年／《只見川、会津柳津(2)》1979年／《会津の冬(51)》1982年／《会津の冬(57)》1982年 全て紙・木版

◆戦後日本の版画

駒井 哲郎 (1920-1976) 《思い出》1948年、／《東の間の幻影》1950年／《海底の祭》1951年 全て紙・銅版
 清宮 質文 (1917-1991) 《ある空間(蝶)》1962年／《九月の海辺》1962年／《虜囚の窓》1972年／《窓のカンテラ》1972年／《夕日の静物》1972年／《入日》1972年 全て紙・木版
 山中 現 (1954-) 《光の海で》《路の途中で》2009年 全て和紙・木版

エントランス・ホール・庭園

井上 武吉 (1930-1998) 《My Sky Hole 89-2》1989年、ステンレス
 エミリオ・グレコ(1913-1995) 《スケートをする女》1951年、ブロンズ
 佐藤 忠良 (1912-2011) 《若い女・シャツ》1982年、ブロンズ
 林 範親 (1948-) 《路地裏》1994年、ナラ・ヒバ・古材・アクリル絵具
 マリノ・マリーニ (1901-1980) 《騎手》1956-57年、ブロンズ
 ジャコモ・マンズー (1908-1991) 《車に乗った子供》1982年、ブロンズ
 フェルナン・レジェ (1881-1955) 《歩く花》1952-53年、ブロンズ、寄託作品